

データシート

パブリッククラウド

サービスプロバイダ

プライベートクラウド

オンプレミス

Array **vxAG**

仮想セキュアアクセスゲートウェイ(SSL-VPN)



実績十分なSSL-VPNゲートウェイを仮想化 より柔軟に導入できるリモートアクセス

SSL-VPNによるリモートアクセスは、市場への登場から20年近く経ち、十分に枯れたソリューションと言えます。近年「働き方改革」推進に欠かせないインフラとして、またクラウド環境へのメンテナンスアクセスなどの新しい使用法も現れ、再び注目されています。アレイのハードウェア製品で磨かれたSSL-VPNゲートウェイの多彩な機能や高い品質は、同一のArrayOSを搭載した“vxAG”にも受け継がれ、更なる進化を続けています。

Array **vxAG** 特長

多様な
ライセンス体系



多要素認証
ワンタイムパスワード/
デバイス認証



デスクトップ/VDI
リモート操作

DesktopDirect®



SSL-ECC
ハードウェア
アクセラレーション



※Array AVXシリーズ上
でのみサポート

サポートされる環境



Array **vxAG**
仮想セキュアアクセス
ゲートウェイ

Array **AVX** シリーズ
ネットワークファンクションプラットフォーム

✓仮想環境でも高速な
ハードウェアSSL処理可能

- セントラルライセンス
- シングルライセンス

パブリック・クラウド

✓メジャーなクラウドサービス
で利用可能

- サブスクリプション(利用分課金)
- BYOL(ライセンス持込)

プライベート・クラウド
および
オンプレミス

✓各種ハイパーバイザに対応

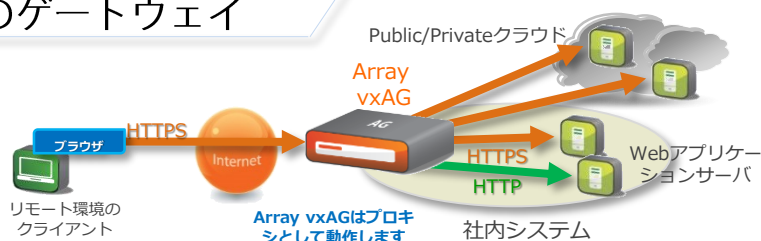
- サブスクリプション (1ヶ月/1年)
- パーベチュアルライセンス (期限なし)

※クラウドサービス、ハイパーバイザの最新状況は、弊社のWebサイトをご覧ください

○ 基本機能

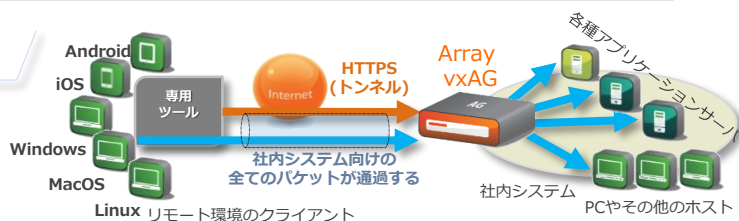
■ Webアプリ/クラウドへのゲートウェイ

SaaSやWebアプリケーションのサービス利用は増加しています。Array vxAGをゲートウェイ・プロキシとして設置すれば、Webリソースへのアクセスもワンストップ管理できます。強力な認証、SSL暗号化通信と併せ、よりセキュアなシステムを構築できます。



■ L3VPN(トンネリング)

サービスやプロトコルによる制限を受けずに、社内システム環境へリモートアクセスすることが可能です。接続のためのツールは各種クライアントOSに対して提供されています。



■ 専用クライアントアプリ MotionPro

モバイルデバイスから簡単にVPNアクセスを行うことのできるクライアントアプリを、Android、iOSのいずれにも無償で配布しています。また、Windows、MacOS、LinuxのデスクトップOS版も提供しています。



MotionPro Plus

Array AG/vxAGにアクセスするためのSSL-VPNクライアントアプリです。

iOS版



MotionPro

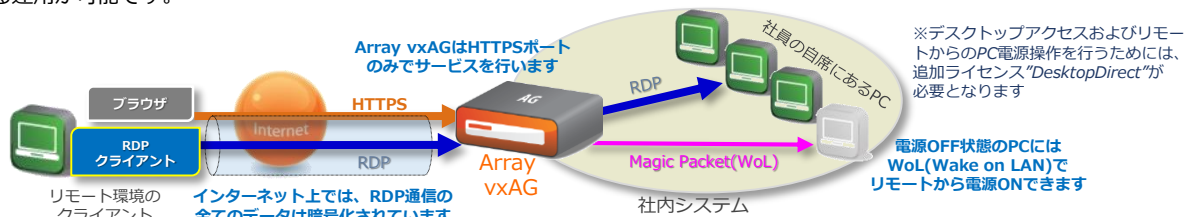
Array AG/vxAGにアクセスするためのSSL-VPNクライアントアプリです。

Android版

○ オプション機能 (追加ライセンスが必要となります)

■ 自席PCをセキュアに操作 DesktopDirect

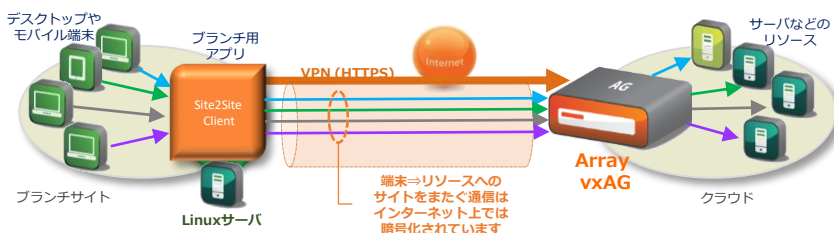
DesktopDirectは、社内にあるデスクトップに安全なリモートアクセスを実現します。ユーザ毎のアクセス範囲や権限を管理でき、データの持出しも防ぎます。また、物理PCに対するリモートからの電源操作も可能なため、使用する時だけ電源をONにする運用が可能です。



■ サイト間のVPN接続 vSite2Site

クラウド、データセンタ、オンプレミス、リモートサイトなどの各拠点間を、SSL-VPNで常時接続するための機能です。センタ側ではArray vxAGがHUBとなり、ブランチ(Spoke)サイトでは、Linuxサーバに専用ソフトウェア(Site2Site client)をインストールするだけです。

ブランチサイトのサブネット上のクライアントは、認証等は必要とせず、センタサイト内のリソースに自由にアクセス出来ます。このときArray vxAGが、ブランチサイトのSite2Site clientからのVPN接続要求に対して、認証を行います。



多くの小規模拠点をもち、移転や統合、回線変更などの多い組織には、特に有効なソリューションです。ブランチサイト側のネットワーク環境を大きく変えることなく、ほぼそのまま移行できます。さらにSSL-VPNであるため、IPSecによるVPNに比べ、NATやFirewallとの親和性も高く、シンプルな設定で設置環境も選びません。※vSite2Siteを使用するには、追加ライセンスが必要となります。

■ デバイス認証/IDaaS連携

のポリシーも実現できます。またマトリクス認証(SECUREMATRIX)とも連携可能です。

アクセスに使用されるデバイスを、IDで識別する個人認証も標準装備。RADIUSやLDAPを介した外部認証基盤とも併用可能で、IDaaSとの実績も多く、多要素認証

■ ワンタイム・パスワードによる認証

MotionPro OTP

一定時間ごとに更新されるランダムな数字をパスワードとして認証に活用することで、セキュリティはさらに高まります。このワンタイムパスワードの利用に、物理トークンや専用サーバは必要ありません。ユーザはモバイルデバイスに専用アプリ“MotionPro OTP”をインストールし、管理者はArray vxAG上にオプション設定を行うだけです。

ワンタイムパスワードが
◎専用システム不要
◎追加ライセンス不要
で利用できます

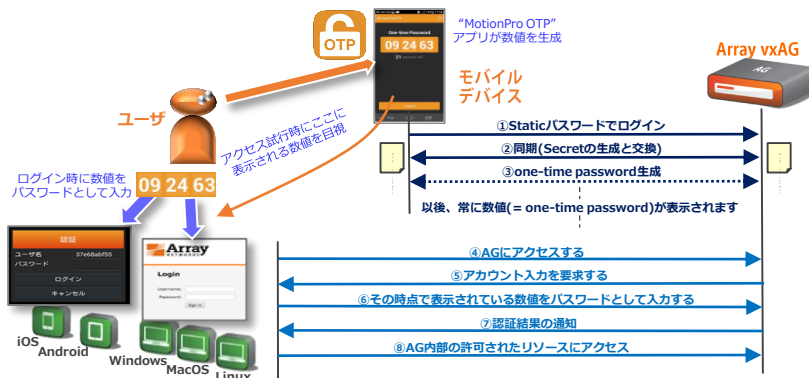


MotionPro OTP

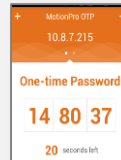
iOS, Android対応のワンタイム・パスワード専用アプリ。AppStore、GooglePlayからそれぞれ無償でダウンロードできます。



“MotionPro OTP”を起動します



Staticパスワードを使用してAGにログインします
これは初期設定であり、ログインに成功すればAGとの同期が完了します



ログインに成功するとワンタイムパスワードは常に表示されます
“MotionPro OTP”の再起動後、モバイルデバイスのスリープや再起動後も利用できます

○ ソフトウェア/動作環境

■ 日本語GUI/業界標準CLI

日本語GUI標準装備。高度な設定や運用管理も直感的に行うことが出来ます。また、CLIはネットワーク・エンジニアにはお馴染みの標準的コマンド体系にまとめられており、すべての設定項目を網羅しています。

■ SSL脆弱性への耐性

SSLコンポーネントを独自にビルドしたArrayOSは、OpenSourceを利用した他社製品と比べ、脆弱性に該当する割合が非常に少ないという統計結果もあります。もちろん脆弱性該当時の対応も迅速に提供致します。

■ APIでクラウドシステムへの組み込み

Array vxAGは、XML-RPCインターフェイスをサポートしており、外部からのほぼすべての制御が可能です。クラウドシステムにおけるVPNサービス機として組み込みも可能です。実際にクラウド事業者へ導入された実績も多数あり、ユーザ企業のシステム管理者のためのメンテナンス用アクセスとしての活用も増えています。

■ 信頼の証 “ICSA Labs SSL-TLS VPN certification”取得

Array vxAGと、Array AVXシリーズは、“ICSA labs”(*)による数々の安全基準テストをクリアし、高い信頼性をもつSSL-VPNソリューションとして認定を受けました。この認定を受けているのはワールドワイドで3社のみです(2018/11月現在)

(*)“International Computer Security Association”:ベライゾン社の独立した一事業部であり、市場のセキュリティ製品を中立的視点から調査・検証・認定を行っています

■ “Array AVX シリーズ”上なら SSL-VPNを高速なハードウェア処理

vxAGは、AVXシリーズ ネットワークファンクションプラットフォームが搭載するハードウェアSSLアクセラレータと連携し、SSLのエンコード/デコード処理を高速に行うことが可能です。vxAG、AVXともにECC方式SSLをサポート。運用をシンプルに保ちながら、SSL-VPN経由でのレスポンスを維持向上出来ます。



Array AVX シリーズ



○ サポート環境と提供形態

※以下の記載は、2018年11月現在の状況に基づいています。
最新情報は弊社WEBサイトをご覧ください

Array **vxAG**

仮想セキュアアクセスゲートウェイ

Array **AVX** シリーズ

ネットワークファンクションプラットフォーム

✓ 仮想環境でも高速な
ハードウェアSSL処理可能

**vxAGが利用できる
Array AVXシリーズ**

- AVX 5800
- AVX 7800
- AVX 9800

**Array AVXシリーズに
提供されるライセンス**

■ License Package
(セントラルライセンス)
AVXの筐体にインストールするだけで、規定された最大数分のvxAGインスタンスをデプロイできます。
4, 8, 12, 16, 24, 32のライセンスがそれぞれ用意されています。

■ Single License
(単体インスタンス用)
AVXの筐体上のvxAG-インスタンスにインストールする1基分のライセンス。AVXのインスタンスサイズごとにライセンスが提供されます。

✓ **ICSA lab認定済の安心な環境**

※AVX上でvxAGをデプロイした環境が認定対象となります

ICSA labs
CERTIFIED SSL VPN

パブリック・クラウド

✓ メジャーなクラウドサービス
で提供

**vxAGが利用できる
パブリック・クラウド**

- Amazon AWS
- VMware vCloud Air
- Aliyun

**パブリック・クラウドで
利用できるライセンス形態**

■ Subscription(利用分課金)
クラウド事業者のMarket Placeなどからそのままデプロイし利用でき、お客様によるvxAGライセンスの管理は不要です。お客様のパブリック・クラウドのアカウントに課金されます

■ BYOL (ライセンス持込)
お客様自身が保有されるvxAGのライセンスを、パブリック・クラウド上にデプロイされた仮想マシンに適用できます。
※パブリック・クラウドのサービスによって提供形態が異なる場合もあります

動作環境例

※AWSでのデプロイには以下のインスタンスを推奨しています

t2.small, t2.medium,
m4.large, m4.xlarge

プライベート・クラウド および オンプレミス

✓ 各種ハイパーバイザに対応

**vxAGが対応する
ハイパーバイザ**

- VMware ESXi 4.1以降
- XenServer 5.6以降
- Open Xen 4.0以降
- KVM 1.1.1-1.8.1以降

**プライベート・クラウド/オンプレミス
環境で利用できるライセンス**

■ Monthly Subscription (1ヶ月分)
デプロイされたvxAGに適用すると1か月間所定の機能が利用可能になります。

■ Annual Subscription (1年間分)
デプロイされたvxAGに適用すると1年間所定の機能が利用可能になります。

■ Perpetual License (期限なし)
期限なく利用できる買取りタイプのライセンスです。

動作要件

※vxAGのデプロイには以下が必要です

- 仮想CPU : 2(*)
- RAM : 2もしくは4GB
- ストレージ : 40GB
- 仮想NIC : 4

(*)Intel VTをサポートしたマルチコアのIntel製64bit x86 CPU (AMD製には非対応)

ソフトウェア機能	
AccessDirect	VPN関連機能 ユーザ認証と アクセス管理 ネットワーク セキュリティ
	冗長化
DesktopDirect	システム管理 デスクトップアクセス
	SSL機能
SSL Encryption, Virtual Portals, Web Applications, L3VPN client, Host Checking, vSite2Site(サイト間VPN) Local database, RADIUS, LDAP, SAML SP, SAML Idp, OAuth, SecureMatrix, HardwareID(デバイス個体認証), アンチウィルスソフトウェアの状態チェック, ワンタイムパスワード(MotionPro OTP) IPv6 Dual Stack, IPv4/V6 NAT, Ethernet link aggregation, VRRP, Static Routing Webwall™ (ネットワークベースファイアウォール), URL filtering 最大32ノードのClustering, Active/StandbyおよびActive/Active構成, コンフィグレーション同期, Stateful Session Failover (SSF) CLI(業界標準コマンド形式), WebUI(英語/日本語/繁体中国語/簡体中国語), SSH, Syslog(TCP/UDP), SNMP(v2/v3), XML-RPC Virtual Portals, Array resistration technology, Wake-on-LAN *X509証明書の生成, 複数の仮想サイトでの証明書共有 *1024/2048/4096bitの暗号鍵方式 *SSL方式 : SSLv3.0, TLSv1.0, TLSv1.2 *Cipherスイート(RSA): RC4-MD5, RC4-SHA, DES-CBC3-SHA, AES128-SHA, AES256-SHA, AES128-SHA256, AES256-SHA256 *Cipherスイート(ECC): ECDHE-ECDSA-AES128-SHA, ECDHE-ECDSA-AES256-SHA, ECDHE-ECDSA-AES128-SHA256, ECDHE-ECDSA-AES256-SHA384, ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256, ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384	

<開発元>



アレイ・ネットワークス株式会社

〒210-0004 神奈川県川崎市川崎区宮本町6-12
GS川崎ビル4階

TEL: 044-589-8315

FAX: 044-589-8303

Email: Sales-Japan@arraynetworks.net

Website: www.arraynetworks.co.jpWebsite2: www.arraynetworks-japan.com

※製品仕様などの最新情報は、弊社Webサイトをご参照下さい



<お問合せ>